



クローバー

2016. 2

第33号

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して ～



脳血管内治療

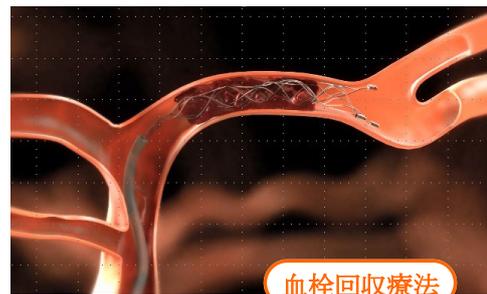
今年は虚血性脳血管病変の治療(血栓回収療法など)の充実をすすめます

低侵襲で、見えにくいところを可視化できる内視鏡支援手術が、多くの外科領域で増加していると思います。脳神経外科でも、その特性を利用し内視鏡を用いた手術を行っていますが、今回説明します脳血管内治療は内視鏡手術とは全く別の治療です。

内視鏡手術は内視鏡を挿入し病変に到達する経路(アクセスルート)を、皮膚切開や穿頭または開頭操作で作らなければなりません。病変の観察は可視光を使います。

脳血管内治療は、血管内腔をアクセスルートとして使いますので、大腿動脈や静脈にシースを挿入する程度の非常に簡単なルート作製で済みます。体内の病変や治療に用いる機材(デバイス)の可視化には、血管撮影装置のX線透視を使います。乱暴な言い方かもしれませんが、冠動脈インターベンションと同じようにして、脳血管病変を治療します。更新された血管撮影装置は、従来の装置よりも低被曝でありながら高画質な画像で病変の観察が可能となり、昨年は脳動脈瘤の治療を行いました。

今年は虚血性脳血管病変の治療(血栓回収療法、CAS、PTA等)を充実させる準備をしております。特にステント型レトリバーを用いた血栓回収療法は、発症4.5時間以内の血栓溶解療法(IV rt-PA)で閉塞血管を再開通させられなかった症例を救う治療として有効であることが、最近になり報告されました。



血栓回収療法
ステントを展開し、血栓をとらえた直後の画像

県南の近隣医療機関と連携しながら(Drip, Ship and Retrieve法)、超急性期治療を変えていきたいと考えております。

脳神経外科長 菊池 登志雄

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療(専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏内の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます

部署紹介

医師事務支援室 (医療クラーク)



半田医師事務支援室長（二列目右）、
久慈医事経営課長（前列右）、医療クラークのみなさん

医師事務支援室長（副院長） 半田 政志

同室次長（医事経営課長） 久慈 一広

医師以外でも対応可能な事務的作業を事務職員に分担させることにより、医師の業務負担を軽減し勤務環境の改善を図ることを目的に、当院では平成20年4月以降「医師事務作業補助者（医療クラーク）」の配置、増員を進めてきました。

現在27名が各診療科外来に配置され、主に次の業務等に対応しています。

- ・ 診療記録等（電子カルテ、オーダーリング）の代行入力
- ・ 診療に関するデータ整理（検査成績表の整理及びスキャン等）
- ・ 診断書・証明書・主治医意見書等の書類作成補助
- ・ 退院時要約書の作成補助



これまでの業務対応によって「医師が診療に専念できる時間の増加」「外来診療のスピードアップ」「診断書等の書類作成時間の短縮」など、医師の事務作業の負担軽減が進んだことによる効果に対して院内外から高い評価をいただいています。

今後は、書類作成関係業務の拡充や入院患者に係る各種オーダーなど病棟業務への対応の検討など、さらなる医師の事務負担軽減、診療業務の円滑化に努めていく考えです。

シリーズ

ひとからひとへ

～前号の地域医療福祉連携室 佐藤主任からハトタッチ！～



なかむら ゆか

氏名：中村 由佳

職名：医療社会事業士

出身：盛岡市

経歴：平成20年に県職員（福祉職）採用。県立南光病院を経て、胆沢病院勤務5年目。

趣味：スポーツ、旅行、温泉めぐり

Q. 業務について教えてください。

A. 医療ソーシャルワーカーとして、病気やけがに伴って生じる患者さんやご家族の心配事についてお話をうかがい、社会福祉の立場から問題解決のお手伝いをしています。病院機能や地域特性から、退院支援を含む療養環境調整が主な業務となっています。当院には、医療相談室内にがん相談支援センターが設置されており、がん専門相談員として“がん”に特化した相談も受けています。現在はがん相談支援の一環として、がん患者・家族サロンや玄関ホール内医療情報コーナーのイベント開催・運営に力を入れています。当院の患者さんやご家族だけでなくただでも相談・参加できますので、多くの方にご利用いただけるように多職種でアイデアを出し合いながら取り組んでいます。

Q. 医療機関へひとことお願いします。

A. 主に退院支援業務を通して、日頃から他医療機関や関係機関の皆様には大変お世話になり感謝しております。今後も胆江圏域の住民の方々それぞれが望むその人らしい暮らしを一緒に支えていければと考えておりますので、よろしくお願い致します。

出前「医療講演」を始めました

身近な医療のことについて、医療スタッフが出張してお話しします！

岩手県立胆沢病院では、地域の医療を担う病院として、訪れる患者さんを診るだけでなく、地域に赴き、地域住民が医療や健康に関心を寄せ、地域医療への理解を深めることを目的にお伺いします。どうぞお気軽にご利用ください。

対象者・受講者数

奥州市・金ヶ崎町内に在住、在勤または在学する10人以上の者で構成された団体等で、受講者数が概ね10人以上でお願いします。

営利を目的とした講演の派遣は受け付けておりません。（会社組織からの研修依頼については、基本的にお受けできませんのでご了承ください。）

開催時間・場所

開催時間は、午前9時30分から午後9時の時間帯において2時間以内です。

開催場所は、奥州市・金ヶ崎町内とさせていただきます。

講演テーマ			
1	呼吸不全について	21	在宅における抗がん剤の治療について
2	気管支喘息について	22	褥瘡対策
3	COPD（慢性閉塞性肺疾患）について	23	ストーマケア
4	肺線維症について	24	創傷ケア
5	結核について	25	緩和ケアについて
6	SAS（睡眠時無呼吸症候群）について	26	冬にはやる感染症
7	肺がんについて	27	リンパ浮腫について
8	心筋梗塞を予防しよう	28	おくすりの正しい飲み方について
9	不整脈を治す	29	MR I 検査の安全性について
10	高血圧・糖尿病・脂質異常	30	放射線検査の被ばくについて
11	胸が痛い	31	がんと栄養について
12	どのように最期を迎えたいか どのように最期を支えたいかを考える	32	バランス食について
13	乳がんについて	33	介護予防について
14	緩和ケアについて（がんなどによる痛み（苦しみ）をおさえる医療）	34	糖尿病（運動療法）について
15	脳血管内治療について	35	廃用症候群について
16	脳卒中の治療全般に関して	36	地域医療連携について
17	感染を予防する正しい手洗いの方法	37	医療費のしくみ
18	緊急応急処置	38	最近の胆沢病院のできごとについて
19	口腔ケア	39	病院のしくみ
20	呼吸ケア		

問い合わせ先 地域医療福祉連携室

TEL : 0197-24-4121 (内線9068)
FAX : 0197-24-4180



胆沢病院ロゴマーク

病院長の発案から始まったデザイン募集に24作品が寄せられ、厳正・公正な審議の結果、上記のマークに決定しました(H27.12)。

胆沢病院理念に掲げている **愛** をモチーフに

ロゴマークデザインが決定しました!

制作意図

- ◇ 上部の「i」は、アルファベットの小文字で isawa の「i」を表し、両手を広げている人物を抽象的に表現しています。
- ◇ 両腕は「いさわ」の「い」をイメージしています。
- ◇ 上から両手を差し出している様子は、大切なものを護り、抱える様子をイメージしています。大切に抱えるものは、地域医療を担い、地域・住民そして患者さんを護ることを秘めている「医療人としての心」です。
- ◇ 両手の中は、胆沢病院理念に掲げている「愛」をモチーフにした「♥マーク」を表現しています。
- ◇ 色は、奥州市の花である「桜」をイメージし、優しさを醸し出しています。

第10回 医療情報コーナーイベントのご案内



がんに対する放射線治療

参加費
無料
(予約不要)

“がん”や医療に関する情報収集・発信の場として、玄関ホール内に「医療情報コーナー」を設置しています。

「医療情報コーナー」を広く市民の方々に知っていただく機会になるように、月1回(第4火曜日)イベントを開催しております。

当院の放射線治療担当技師が、がんの治療でもちいられる放射線治療についてわかりやすく説明します。放射線に対する不安のある方、検査・治療について聞きたいことがある方などの質問にお応えします。

日時 ▶ 平成28年2月23日(火) 9:30~11:30

1回目 9:30~

2回目 10:30~

場所 ▶ 胆沢病院玄関ホール内「医療情報コーナー」

【お問い合わせ先】 担当：地域医療福祉連携室 電話：0197-24-4121 (内線1065、1158)



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180 (地域医療福祉連携室専用)

URL <http://www.isawa-hp.com/>